




# 調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 勝浦 伸行 様



報告年月日	令和 4 年 4 月 28 日
実施日(期間)	令和 4 年 4 月 22 日
実施場所 (行先等)	一関市 岩手日報ビル
事業区分 (いずれかに○)	<input checked="" type="radio"/> 研 修    調査研究    要望・陳情活動    会 議
事業内容	セミナー：新人議員特別セミナーin 一関 演題：議員の資質向上と議会運営の基本 講師：自治体議会研究所代表 高沖秀宣 氏
報告者	(会派名) 輝郷会    (代表者) 小野寺 道雄  
参加者	議 員 猪 股 晃 
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・・・別紙 2. 概要・・・・・・・・・・別紙 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙
主要 資料名	セミナーレジメ _____ _____ _____ _____ _____

## 別紙

### 1. 目的

新人議員として、議員資質の向上を図るためにセミナーを受講

### 2. 概要

講話を聴講し、以下の事項について学ぶ

#### 1 議員資質の向上

1) 議会の役割・機能

#### 2 議会運営の基本

1) 二元代表制について

#### 3 議員力・議会力の強化

1) 議会改革の実例

#### 4 監視機能の強化

1) 一般質問の反映と充実

2) 委員会審査のポイント

#### 5 政策提案・政策提言機能の強化

1) 議員の一般質問から議会の政策提言へ

2) 通年市議会のメリット

#### 6 コロナ禍の議会運営

1) 議事機関としての機能の維持

2) 多様性のある議会

3) オンラインによる委員会、本会議の開催

4) 政務活動費の必要性

### 3. 参考とすべき事項・所感

以下のことを再認識させられたセミナーでした。

#### ①議会の役割と機能

議会の役割としては、議案の議決や執行機関の監視があるが、議案や施策を審議し、政策形成に生かす意見や提案をしていくことが大切。

→議会は、首長の追認機関ではない。二元代表制に基づき、議会として、しっかり、戦略を持って政策提言できるよう議会改革を進めていく必要がある。

#### ②政策立案、施策提言の強化

一人の議員の問題提起を、議会全体として、あるいは委員会としての政策提言にしていくような取組が大切であるとのこと。

→議会全体として、あるいは、委員会として議員間討議を積極的に行い、政策提言につなげていく仕組みを構築していく必要がある。

また、そのための政務活動費であり、有効に使い、しっかりその成果を政策立案や提言の形で、市民に還元していく必要がある。

セミナーには、新人議員を中心に、一関市議会から7名、奥州市議会から3名の議員が参加しましたが、奥州市では、既に政策提言を行っており、一関市議会の取組をしっかり行う必要があるものと強く感じたセミナーでした。

# 調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議員 勝浦伸行様



報告年月日	令和4年10月18日
実施日(期間)	令和4年10月4日 13:30~17:00
実施場所 (行先等)	陸前高田市コミュニティホール
事業区分 (いずれかに○)	研修 調査研究 要望・陳情活動 会議
事業内容	勉強会出席 勉強会名：ローカルマニフェスト推進連盟 東北勉強会 2022 陸前高田市 ローカル・マニフェストで東北から日本が変わる
報告者	(会派名) 輝郷会 (代表者) 小野寺 道雄
参加者	議員 小野寺道雄 議員 千葉 信吉 議員 千田 良一 議員 猪股 晃
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙 2. 概要・・・・・・・・別紙 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙
主要 資料名	別紙レジメ _____ _____ _____ _____ _____

## 別紙

### 1. 目的

議会・議員の有り様について、議会改革の観点から研鑽を深めるため

### 2. 概要

基調提起：「マニフェスト 20 年 ローカルマニフェストで地域から日本が変わる」

早稲田大学名誉教授・元三重県知事 北川 正恭

問題提起：「住民自治としての議会」

大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭

事例発表；議会改革の実践

「会津若松市議会における地方議会成熟度評価モデルの取り組み」

会津若松市議会議員 目黒章三郎

「奥州市議会における議会改革の実践」

奥州市議会議長 菅原 由和

登壇者パネルトーク&質疑応答

### 3. 参考とすべき事項・所感

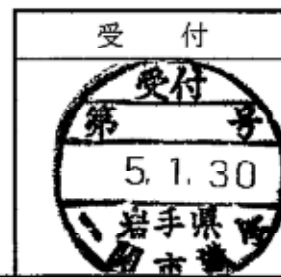
以下のことを考えさせられた。

- ・議会は行政の監視機能の他にも、市政に対して積極的に政策提言していく必要があること
- ・住民の声を元に、議員間討議を深め、議会から政策提言し、その進捗状況を確認していく仕組みづくりが必要であること
- ・行政の各種計画の素案づくりに、もっと議会が関与していけるような取組が必要
- ・SNS やコミュニティ FM など、多様な媒体を活用して、住民に対して、積極的に、わかりやすく、タイムリーに情報発信していく
- ・良い取り組みは、TTP（徹底的にばくる）して、議会改革の実践につなげていく

なお、議会改革については、一関市議会としてまだまだ未熟なところが多いと感じ、今後、議長を中心に議会改革に取り組み、住民から信頼される議会・議員となるよう取り組んでいかなければとの思いを強くした研修会でした。

# 調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議員 勝浦伸行 様



報告年月日	令和5年1月 <sup>30</sup> <del>18</del> 日 <del>20</del> 日
実施日(期間)	令和5年1月18日～20日
実施場所 (行先等)	1月18日：兵庫県丹波篠山市 丹波篠山フィールドステーション 1月19日：兵庫県三田市役所 1月20日：兵庫県加西市役所
事業区分 (いずれかに○)	<input type="radio"/> 研修 <input checked="" type="radio"/> 調査研究 要望・陳情活動 会議
事業内容	以下の取組について、市の担当者、議員より説明を受け、質疑応答を行った。 丹波篠山市：篠山イノベータースクール、ブランド戦略 三田市：こうみん未来塾、さんだ里山スマートシティ構想 加西市：議会改革（業務継続計画、政策提言、議会報告）
報告者	(会派名) 輝郷会 (代表者) 小野寺 道雄
参加者	議 員 小野寺道雄 議 員 千葉 信吉 議 員 猪股 晃
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙 2. 概要・・・・・・・・別紙 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙
主要 資料名	別紙レジメ     

## 別紙

### 1. 目的

議員資質の向上と、今後の市政に対する提言等に役立たせるため。

### 2. 概要

丹波篠山市 移住定住向けに、行政施策を一元的に集約して情報発信し、事業展開している以下の取り組みを学ぶ

#### ○丹波篠山ブランド戦略

・市名の変更までして、市のブランド力を確立すべく、様々な地域資源の価値向上を図っている。

#### ○篠山イノベータースクール

・神戸大学と連携し、起業支援のため、年間を通じたスクール開校や、学びと交流の場の提供などにより、多くの起業者、移住・定住者が生まれている。

三田市 子供の育成プログラムと、市全体のICT戦略について、以下の取り組みを学ぶ

#### ○こうみん未来塾

・組織機構として、子ども未来部・こども未来室・健やか育成課を設置し、子ども達の健やかな成長を育むため、地域や学校、企業、大学等が携し、年間を通じて多くのプログラムを提供している。

#### ○さんだ里山スマートシティ構想

・市全体のICT化を推進し、市民生活の利便性の向上や行政事務の効率化を目指す構想と、構想に基づく具体的な取組の紹介。

加西市 議会改革について、以下の取り組みを学ぶ

#### ○事業継続計画

・災害等が発生した際に、議会機能、議員として取り組むことを計画として取りまとめており、災害対策本部機能を阻害しない地域の情報収集のあり方等。

#### ○政策提言

・市民に対する議会活動報告や懇談会をもとに、委員会ごと政策提言をまとめ、市長に提言する流れ。

#### ○議会報告

・議会活動として、市民の意見、要望を集約していく仕組み。

### 3. 参考とすべき事項・所感

#### ○丹波篠山市

市民がプライドを持ち生活し、市外の方もそんなまちで暮らしてみたい、起業してみたいと思ってもらえるまちづくりを進めており、移住者が移住者を呼び、起業志向者も多く集まる状況となっている。

神戸大学との緊密な連携が大きく寄与しており、移住者や起業者のサポート体制も充実しており、市としてのブランド力強化、移住・定住を大きな柱としている取組は、多くの示唆に富んだ事例であった。

当市の場合は、それなりの仕組みはあるものの、各セクションがばらばらの取組となっており、丹波篠山のブランド戦略課のような部署を設置し、大学等の協力を得ながら、包括的な取組体制を構築していく必要もあるものと感じた。

#### ○三田市

##### ◇「こうみん未来塾」

「本物に触れる体験」をコンセプトに、教育・研究機関や企業、NPOや専門家、地域人材や大学生などが協働し、また、市内高校生との協働した講座など小中学校を対象とした「こうみんプログラム」を提供している。

PTAや街づくり協議会などの地域団体が活用する取り組みとしてのテーマは多岐に渡り、トライアンドエラーで試行錯誤したり、チームで協力したり、他者と競争するなど「子どもたちが自分で考えて行動する」仕掛けになっている。

また、親子講座として一緒にプログラムを体験するなど、保護者との関わりも重視してる。これにより、家庭での会話が広がったり、保護者自身が学ぶことへの喜びを感じているとのこと。

子どもたちの学び・体験する機会を「公民」協働で作りに上げてきた「こうみん未来塾」とのことだ。

ソサイティ5.0の点からも大変興味深く参考になった。

##### ◇三田スマートシティ

市民の誰もが、いつでも、どこでもデジタル活用の恩恵を享受し、幸せを実感しながら住み続けられるまちの実現をめざし、取り組みが推進されており、さんだ里山スマートシティの推進新体制は大変参考になった。

また、デジタル活用サポート事業、神戸大学との連携した人材の育成など三田市・地域のショップ・地域団体などとの連携による取り組み事例集はスマートシティ推進にあたり参考になった。

#### ○加西市

業務継続計画については、災害時において、議会機能を維持するために、議長を本部長とする災害対策支援本部の設置、議場及び委員会室等が使用不要になった場合の代替施設の確保などの環境整備、議員等の行動基準及び行動形態を時系列に定めてパターン化していること。さらに、議員の安否連絡票や情報収集連絡票を様式化していることなど、当議会の業務継続計画を実効性あるものにしていく上で、参考とすべきものがあつた。

政策提言については、議長を座長とする政策検討会や常任委員会でテーマを決

めて、先進地視察を含め所管事務調査を実施し、報告書（提言書）として取りまとめ議長に提出していること。また、議会報告については、名称を「市民との意見交換会」として、直近の本会議の議決・議論の報告（5～6分程度）を行い、その後の1時間程度の意見交換を実施している。最近は、各種団体との意見交換を実施しており、障がい者団体からの意見を受け、議員提案で手話言語条例を制定するなどの事例は、参考になるものがあった。